

令和7年度 第2回佐賀県教育センター運営協議会



< 説明資料 >

1 令和7年度事業評価中間報告及び 改善のポイント

1 令和7年度事業評価中間報告 及び改善のポイント

(1) 研修課

- ・総合企画担当
- ・教職研修担当

令和7年度 研修課 事業評価 中間報告

番号	事業名	評価項目	指標	評価結果	備考
1	必須研修	初任者研修受講者の評価	平均5.1以上	達成(5.58)	受講者317名
		中堅教諭等資質向上研修受講者の評価	平均5.1以上	※達成(5.26) 第2回合同研修まで	受講者195名
		2年目研修受講者の評価	平均5.1以上	達成(5.67)	受講者306名
		3年経験者研修受講者の評価	平均5.1以上	達成(5.36)	受講者320名
		養護教諭研修受講者の評価	平均5.1以上	達成(5.73)	受講者57名
		教育行政職員研修受講者の評価	平均5.1以上	達成(5.29)	受講者515名 ※延べ人数
		職務別研修受講者の評価	平均5.1以上	達成(5.40)	受講者1,386名 ※延べ人数
		課題別研修受講者の評価	平均5.1以上	達成(5.71)	受講者289名 ※延べ人数

※評価はアンケート結果(経験年数別研修は4件法、その他は6件法)による

令和7年度 研修課 事業評価 中間報告

番号	事業名	内容・評価項目	指標	評価結果	備考
2	希望等研修	希望等研修受講者の評価	平均5.1以上	達成(5.52)	受講者3,125人
8	インターネット活用	教育センターWebからの情報提供 教育センターWebの総アクセス件数	年間アクセス数 350万件以上	達成 (456万件)	R7. 4月～ R7. 11月まで

令和7年度事業の概要

令和7年度 事業報告

研 修 課

研修種別		R7実施回数	R6実施回数
初任者研修校外研修(小)	対面	5回	4回
	オンデマンド	1回	1回
初任者研修校外研修(中高特)	対面	5回	5回
	オンデマンド	1回	1回
中堅教諭等資質向上研修	対面	2回	2回
	リアルタイム・オンライン	1回	1回
	オンデマンド	1回	1回
2年目研修	対面	1回	1回
3年経験者研修	対面	1回	1回
養護教諭経験年数別研修 ※職務に関する研修のみ	対面	9回	9回
	リアルタイム・オンライン	1回	1回
教育行政職員研修 ※職務に関する研修のみ	対面	13回	9回
	リアルタイム・オンライン	2回	5回
	オンデマンド	4回	4回

研修種別		R7実施回数	R6実施回数
職務別研修 (13本※R6は14本)	対面	14回	17回
	リアルタイム・オンライン	3回	6回
	オンデマンド	3回	3回
課題別研修 (3本※R6も3本)	対面(半日オンデマ ンド含む)	7回	7回
	リアルタイム・オンライン	2回	2回
希望等研修 (88本※R6は96本)	対面	59回	69回
	リアルタイム・オンライン	22回	24回
	オンデマンド	3回	3回
	取りやめ及び中止	4回(※ST認証関連)	0回

必須研修(経験年数別研修、教育行政職員研修)

- 初任者研修
- 中堅教諭等資質向上研修
- 2年目研修
- 3年経験者研修
- 養護教諭経験年数別研修
- 教育行政職員研修

上記の研修について各職種、各キャリアステージに応じた研修を当初の計画通り実施でき、目指す資質の向上を図ることができた。

必須研修

●職務別研修

教職員の職務に応じて求められる専門的な知識や技能、企画立案及び運営、事務処理等の能力の向上を図るために、職務別に実施する。

◆ 13 研修、全て実施。

必須研修

●課題別研修

【小学校新任理科担当教諭研修】

「初めて理科の授業を行う教諭」を対象として、佐賀市、佐賀市を除く東部地区、西部地区、北部地区の4地区に分け、同内容を4回実施

◆繰り返し確認が必要な内容をオンデマンドで提供し、半日対面による研修を実施

【中・高新任理科教諭研修】

新規採用の理科担当教諭を対象として、1日対面による研修を実施

【小学校新任家庭科担当教諭研修】

「初めて家庭科の授業を主担当として行う教諭」を対象として、東部地区、西部地区及び北部地区の2地区に分け、衣生活と食生活の両方を受講する研修として実施

◆衣生活分野は半日対面、食生活分野は半日リアルタイム・オンラインによる研修を実施

◆課題別研修の目的を鑑み、当日欠席者に対し後日センターにて代替研修を実施（8月実施完了）

希望等研修

【本講座・公開講座・出前講座】

- ◆「教科・領域等の専門的かつ実践的指導力の向上を図る」ことを目的とし、本講座88本、公開講座0本、出前講座0本を計画し、うち84本を実施。
(※88本計画していたが、ST認証関連で4本は開講せず)
- ◆リアルタイム・オンライン22本、オンデマンド3本を実施。
- ◆「STの所属校で行われる講座」として授業講座を14本を実施。
(※ST講座は18本計画していたが、ST認証関連で4本は開講せず)

令和8年度事業について

必須研修(経験年数別研修)

●初任者研修

校外研修 12日のうち、共通研修 5日と選択研修 1日を実施する。

●中堅教諭等資質向上研修

校外研修 10日のうち、共通研修 6日と自己課題解決研修（選択研修） 4日を実施する。

●2年目研修

校外研修 3日のうち、フォローアップ研修 1日と選択研修 2日を実施する。

●3年経験者研修

校外研修 3日のうち、全校種合同研修会 1日と企業福祉施設等体験研修 2日を実施する。

●養護教諭経験年数別研修

経験年数に応じた研修を行う。

●教育行政職員研修

教育行政職員を対象とした階層別研修等を実施する。

上記の研修について、各職種、各キャリアステージに応じた効果的な研修となるように研修内容を計画する。

必須研修

●職務別研修

教職員の職務に応じて求められる専門的な知識や技能、企画立案及び運営、事務処理等の能力の向上を図るために、職務別を実施する。職務や研修内容に応じてオンラインでの研修を設定したり、実施時期や内容の精査、検討を進めることで受講者の負担軽減を図る。

	R8(13本 20回)	R7(13本 20回)
リアルタイム・オンライン	3回	3回
オンデマンド	3回	3回

●課題別研修

時代や社会の変化によって生じる学校運営上の課題解決を目的とした研修として実施している。実技を通して、児童への安全指導を学ぶことが目的であるため、多くの研修を対面で行っているが、繰り返し確認が必要な内容についてはオンデマンドや手引き等を活用して、学びの定着を図っている。

希望等研修

【本講座】

- ◆「教科・領域等の専門的かつ実践的指導力の向上を図る」ために、本講座84本を設定している。

	R8(84本)	R7(88本)
リアルタイム・オンライン	20本	22本
オンデマンド	3本	3本

- ◆研修の質を担保しつつ、現場の負担が少ない半日対面による研修を充実させている。あわせて、オンラインによる研修も一定数確保して実施する。
- ◆スーパーティーチャーによる模範授業を参観する研修を通して、受講者にとって活用が見通しがもちやすい研修を提供する。
- ◆保護者対応の研修や、若手教員を対象とした研修を充実させることで、学校(教員)を支える研修を推進する。

【インターネット教育活用事業】

教育センターWebを通して教育に係る情報を発信し、教職員の教育活動を支援する。

◆教育センターWebの運用

◆各種教育情報の発信

◆「受講者専用ページ」及び「研修ファイルマネージャー」によるオンライン（オンデマンド及びリアルタイム・オンライン）研修の実施

■年度当初に、各担当内で情報委員を決定する。

■総括は教職研修だが、研究物発信等は各担当の情報委員で行う。

「新たな教師の学び」に向けて —令和4年度からの取組み—

研修課

令和4年度

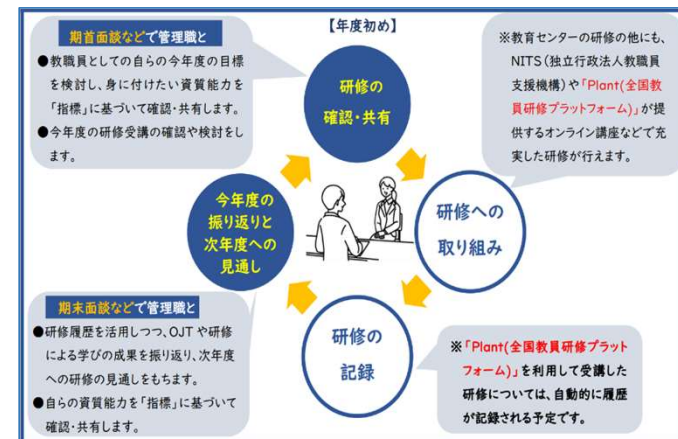
佐賀県教員育成協議会を1回開催

現行の佐賀県教職員の指標について協議し、策定

令和5年度

研修履歴を活用した対話に基づく
受講奨励の開始

研修受講履歴記録システム及び教員研修プラットフォーム
(通称Plant) の利用準備



令和6年度

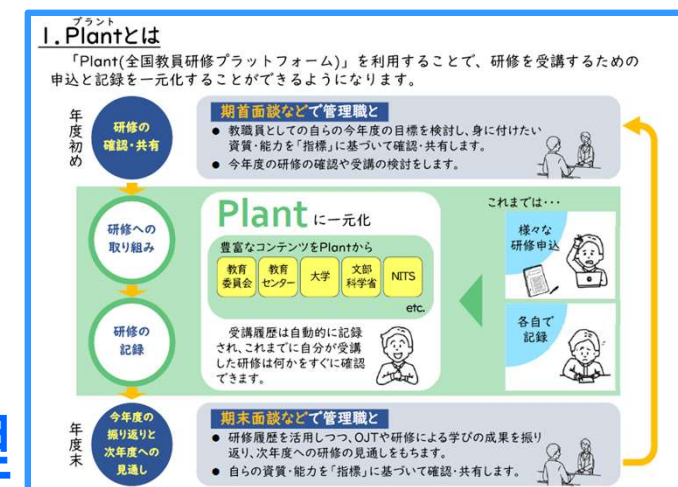
Plantの部分的な機能の運用開始及び
次年度全機能運用開始に向けた準備

令和7年度

Plantの全機能の運用開始及びPlant
利活用に伴う課題等の検討・整理

令和8年度

Plantの更なる活用の検討・整理
「研修観の転換」に向けた調査・研究



(2) 教育支援課

- 研究調査担当
- 生徒支援担当

令和7年度 教育支援課 事業評価 中間報告

番号	事業名	内容・評価項目	指標	評価結果	備考
3	プロジェクト研究	プロ研委員及びセンター所員の取組意欲、理解度、活用意識	平均3.4以上	未確定 (2月確定予定)	調査対象 15名
4	個別実践研究	センター所員の取組意欲、理解度、活用意識	平均3.4以上	未確定 (2月確定予定)	調査対象 14名
5	学習状況調査	オンデマンド研修受講者の評価	平均5.1以上	達成(5.20)	調査対象 36名
6	学校支援	学校等への出向いての支援 支援内容の理解、支援内容の効用感、支援内容の活用意識	平均3.4以上	達成(3.78) (12月22日現在)	調査対象 717名
8	図書資料室管理	県内教職員の利用の促進 教科書展示会の実施	評価しない	—	
9	広報業務	教育センターメールマガジン「ミネルバ」の発信 SNSアプリ「LINE」による情報発信	評価しない	—	

令和7年度事業の概要

令和7年度 教育支援課 事業の概要 <研究調査担当> <生徒支援担当>

3 プロジェクト研究（2か年計画2年目）

センター所員と研究員（学校の教職員）とでプロジェクトチームを組織して進める。

- 小学校 国語科、算数科
- 中学校 国語科、数学科、英語科

4 個別実践研究（1か年計画）

センター所員がチームを組んで、原籍校と連携を図りながら進める。

- 小学校 図画工作科、外国語科
- 中学校 理科、音楽科、美術科
- 教育相談・生徒指導、特別支援教育

【プロジェクト研究】 小学校：国語科、算数科
研究主題 中学校：国語科、数学科、英語科
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進を図るためのコンテンツ開発

○プロジェクト研究コンテンツ（一部）

各教科共通 今年度の研究について

理論編

令和7年度 後援事業教育センター プロジェクト研究

小学校国語科、小学校算数科、
中学校国語科、中学校数学科、中学校英語科における
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進

「深い学び」の実現に向けて～鍵は「見方・考え方」の働かせ方～

単元や題材を通して、資質・能力を育成していくためには、児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」を実現していくことが重要です。

佐賀県教育センタープロジェクト研究では、今年度、「深い学び」に焦点を当て、その実現を図るためのコンテンツを開発します。

各教科等での「深い学び」の鍵となるのが、「見方・考え方」です。習得・活用・探究という学びの過程の中で、教師はどのような働きかけを行うと、児童生徒が「見方・考え方」を働かせることができるのでしょうか。

各教科のコンテンツにおいて、その具体を示していきます。

「見方・考え方」を働かせる授業へ～各研究教科からの提案（一例）～

小学校国語科・中学校国語科	小学校算数科・中学校数学科	中学校英語科
<div style="text-align: center;">  本の紹介文を書きましょう。 </div> <p>言語活動の相手や目的などが際立っている</p>	<div style="text-align: center;">  今日の授業は、教科書〇ページの問題を解きます。 </div> <p>授業の導入で、事象を数理的に捉える場面が設定されている</p>	<div style="text-align: center;">  日本のおすすめ観光地を紹介しましょう。 </div> <p>コミュニケーションを行う目的の場面、状況等が際立っている</p>
<div style="text-align: center;">  家族が読みたいと思うような本の紹介文を書きましょう。 </div> <p>言語活動の相手や目的を明確にする</p>	<div style="text-align: center;">  このクラスのスポーツチームの結果から、どのようなことが考えられますか？ など </div> <p>児童生徒が、算数・数学の問題を見た手帳面を設定する →問題意識や考え方を表出する →日常生活と社会の事象を取り扱う など</p>	<div style="text-align: center;">  伝統文化に興味がある人として、日本のおすすめの観光地を紹介しましょう。 </div> <p>言語活動におけるコミュニケーションを行う目的の場面、状況等が明確になる など</p>
<div style="background-color: #fce4d6; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">小学校国語科 (coming soon)</div> <div style="background-color: #fce4d6; padding: 5px;">中学校国語科</div>	<div style="background-color: #bbdefb; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">小学校算数科</div> <div style="background-color: #bbdefb; padding: 5px;">中学校数学科 (coming soon)</div>	<div style="background-color: #bbdefb; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">中学校英語科 (coming soon)</div>

今年度の研究について

[illegible]

視覚化 思考 言語化 思考センター プレゼンテーション (1) 思考型別別(視覚型別) (思考型別)

ポイント① 視覚を通して、生徒が「言葉による見方・考え方」を自然発的に開かせることができるようにする。

単元の見通しをもつことができるように図解する

(例)

この単元では、資料や情報などを用いながら
にして、自分の考えややり方を述べている
ように説明する機会を設けます。

具体的には、担任の先生に、自分のおすす
めズについてプレゼンテーション
をするに役立ちます。

先生に、「どうして面白い？」と尋ねてより
えるような鋭い気づきを生まします。

単元で習得せ
る学習態度・能力
目標学習態度・能力

単元で取り込む
学習活動
学習活動

単元の先生に、おすす
めズの内容が自分でおすす
められるように、資料など
を使って意図を先生がな
らプレゼンテーションを
組み立てる。

高活発な相手
で対峙

言語活動の中で、どのような「言葉による見方・考え方」を開発できるのか意識してできるように関与を行う。

(例)

担任の先生に「どうして面白
いのか」を説明する。それにより
にどのような意図を先生
をより詳しくする。

言語活動の明示や
目的意識の共有
「何をしたいのか」
「何をしたいのか」
この明示

おすすめる理由を述べたでな
く、資料でも資料と対峙する
を促す。

単元で取り込む学習活動・単元、どのような
単元で取り込む学習活動・単元、どのような

「言葉による見方・考え方」を開発できる領域を越えようとする単元構成にする

(例)

単元構成

担任の先生に、
自分のおすすめるポイントに
ついて、

「どうして面白い」と思っ
ても、先生より鋭い気づき
を生かす。

単元生活に、
自分の所属する単元活動に
ついて、

「面白い」と思っ
ても、先生より鋭い気づき
を生かす。

課題②で学習した
ことを活用して、
課題③に取り組
む。

それにより、どのよ
うなプレゼンテー
ションを組み立て
ますか？

+

○授業公開と授業研究会の実施

令和7年度 佐賀県教育センター 授業公開

プロジェクト×個別実践研究

小・中学校各教科

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善のポイントとは？
「指導と評価の一体化」を図る授業改善について、学びたい！」

児童生徒の資質・能力を育成するために、よりよい授業づくりを行いたいと思っている先生方へ
佐賀県教育センター所員による授業を参観してみませんか？
小学校3教科・中学校2教科の授業を公開し、日々頑張る先生方を応援します！

中学校 数学

令和7年7月
第2学年 領域「数と式」
授業者：佐賀県教育センター
所員 原 正和
(中学校数学科担当)
会 場：佐賀市立昭栄中学校

中学校 美術

令和7年7月
第7学年 領域「表現」
授業者：佐賀県教育センター
所員 砂山 涼子
(中学校美術科担当)
会 場：小城市立小中一貫校芦刈観瀾校

小学校 国語

令和7年9月
第5学年 領域「書くこと」
授業者：佐賀県教育センター
所員 有馬 崇
(小学校国語科担当)
会 場：神埼市立千代田中部小学校

小学校 数学

令和7年9月
第4学年 領域「数と計算」
授業者：佐賀県教育センター
所員 廣瀬 圭吾
(小学校算数科担当)
会 場：唐津市立相知小学校

小学校 外国語

令和7年9月
第5学年 領域「話すこと」
授業者：佐賀県教育センター
所員 内堀 瑛太
(小学校外国語科担当)
会 場：吉野ヶ里町立東有振小学校

【問合せ先】
佐賀県教育センター
佐賀県佐賀市大和町大字川上927番地
TEL 0952(62)5214【研究調査担当】

**令和7年度 佐賀県教育センター
教育センター所員による授業公開 (7月開催)**

中学校数学科 (プロジェクト研究)

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

中学校数学科における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善について提案します！

7月7日(月) (定員20名)

授業者 佐賀県教育センター 所員 原 正和 (中学校数学科担当)
第2学年 「二次方程式の利用」
会 場 佐賀市立昭栄中学校

13:00～ 受付
13:10～ 開会
13:25～14:15 授業
14:30～15:40 授業研究会
15:40～16:00 閉会

中学校美術科 (個別実践研究 小・中学校各教科)

各教科における資質・能力を身に付けるための授業づくり

中学校美術科における授業づくりを通して「指導と評価の一体化」を図る授業改善について提案します！

7月14日(月) (定員20名)

授業者 佐賀県教育センター 所員 砂山 涼子 (中学校美術科担当)
第7学年 「文字のデザイン」
会 場 小城市立小中一貫校芦刈観瀾校

13:40～ 受付
13:50～ 開会
14:05～14:55 授業
15:05～16:15 授業研究会
16:15～16:30 閉会

【申込みはコチラ】

※申込み締切は、各授業公開日の1週間前とします。
※申込みには定員がありますので、先着順・定員となり次第、締切とさせていただきます。
※申込みは、所属校の管理職を通して行ってください。
※参加決定者は、後日メールにて、詳細を御連絡いたします。
【申込フォームURL】
<https://forms.office.com/r/rsDwububch>

【問合せ先】
佐賀県教育センター
佐賀県佐賀市大和町大字川上927番地
TEL 0952(62)5214【研究調査担当】

実施日	教科名	参加者数
7月7日	中学校 数学	12名
7月14日	中学校 美術	9名
9月5日	小学校 国語	13名
9月18日	小学校 外国語	10名
9月26日	小学校 算数	13名

令和7年度 教育支援課 事業の概要

<研究調査担当> <生徒支援担当>

6 学校支援

各教科・領域等に係る学校支援

	学校支援件数	内訳			
		小学校	中学校	小・中合同	その他
令和7年度	95件	21件	31件	6件	37件

8 図書資料室管理

教育に関する書籍や刊行物、研究資料等を収集・整理し、県内教職員の研修を支援する。

9 広報業務

【メールマガジン「ミネルバ」】

教育センターWeb及び登録した個人に、教育センターの研修、研究、支援等に関する情報を提供する。毎月1回以上、時宜を得た情報を配信し、県内教職員の研修をサポートする。

【SNSアプリ「LINE」】

教育センター公式アカウントを立ち上げ、教育センターの取組や研究成果物の周知等、登録者に適宜、情報を発信する。

「ミネルバ」及び「LINE」のちらし

佐賀県教育センター
メールマガジン 『ミネルバ』

★いまして登録!★

教育センターからの旬な情報をお届けします!
子どもたちの生き生きとした学びにつながる、
役立つ情報が満載です。

URL : <https://www.saga-ed.jp/riyou/e-mail-magazine/>

佐賀の先生方を全力サポート!

★—★ 佐賀県教育センター ★—★
メールマガジン「ミネルバ」
第〇〇〇号（令和7年〇月）2025.〇.〇
SAGA Prefectural Education Center
★—★

1. 第2弾! 教育センター所員による授業公開【〇月】
大好評だった第1弾教育センター所員による授業公開。第2弾を
授業の展開、ポイントの押さえ方、児童生徒への声掛けの実践な
さん!

2. 更新! 日々の授業づくりや授業改善に役立つコンテンツ
プロジェクト研究や個別実践研究のコンテンツをWebアップ
ントを示しています。ぜひ、御活用ください!

☆小学校☆
〇〇科、〇〇科

☆中学校☆
〇〇科、〇〇科

→「授業に役立つ実践研究」についてはこちら

3. 学校支援の申請について
教育センターで提供している、「研究」「研修」「学校支援」という
その中の「学校支援」では、学校の様々なニーズに応えられるよ
ます。申請方法も、とても簡単です。まずは、各教科・領域等を担
→「支援の申込み」についてはこちら
→「レファレンス」についてはこちら

→「メールマガジン配信登録・解除」についてはこちら

授業に役立つ実践研究

プロジェクト研究や個別実践研究に係る
コンテンツを多数掲載中!!

プロジェクト研究
「学習指導計画編」 「授業改善の実践編」

個別実践研究
「学習指導プラン」 「授業実践のまとめ」

支援の申込み

支援の申込み

授業による学校支援

佐賀県教育センター
LINE公式アカウント
でタイムリーな情報を!

SAGA
Prefectural
Education
Center

×

LINE

公式アカウントID: @035eqoof

LINEの「友だち追加」から
ID検索をするか、
QRコードをスキャン
してください。

研究に関する
情報の発信

教育講演会
の案内

教育センター
Webへのリンク

授業公開の
案内

友だち追加
お願いします

お問合せ: 佐賀県教育センター 教育支援課研究調査担当 TEL: 0952-62-5214

研究成果のちらし

令和6年度 佐賀県教育センターの研究成果

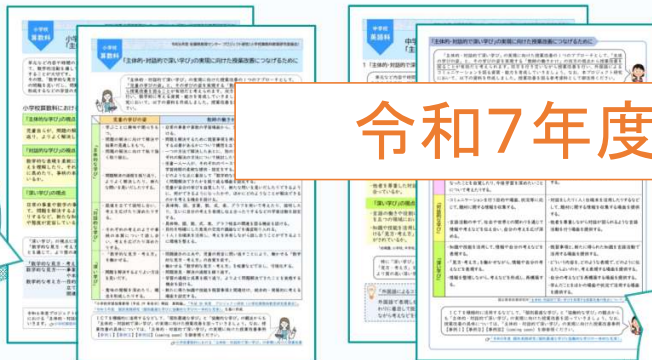
**プロジェクト
研究**
(1/2年次)

**「主体的・対話的で深い学び」の実現に
向けた授業改善**

小学校 国語科、算数科 中学校 国語科、数学科、英語科



各教科における
「主体的・対話的で
深い学び」
もう一度確認！



主体的な学び 対話的な学び 課題設定
発問 日常生活 教材
ICT 深い学び 見方・考え方
課題解決 個別最適な学び 学びたくなる工夫

今後、授業改善事例を
随時発信する予定です。
乞う御期待!!

目指す「児童生徒の
学びの姿」と、その学
びの姿を実現する
「教師の働きかけ」
双方の視点から
アプローチ!

令和6年度 佐賀県教育センターの研究成果

**個別実践
研究**
小・中学校
各教科・領域等

**指導と評価の一体化を図るための
コンテンツの開発**

★学習指導プラン

…指導と評価の一体化を図るために、「単元（題材）デザイン FIRST STEP」と「学習評価 FIRST STEP」を基にした
学習指導案のこと。



小学校



外国語科
道徳科
学校保健

中学校
理科
音楽科
美術科
技術・家庭科
(家庭分野)
道徳科
※随時発信予定

資質・能力の育成に
向けて、指導と評価
の一体化を図る授業
づくりが分かる!

指導と評価の一体化 指導に生かす評価 ICT
三観点 資質・能力の育成 単元（題材）を通した授業づくり
指導と評価の計画 学習の見通し 記録に残す評価

令和8年度事業の構想

令和8年度 教育支援課 事業の構想

○研究調査事業の推進・充実

- ・ 各教科における資質・能力を身に付けるための授業づくりに役立つコンテンツの開発
- ・ 若手教員が活用しやすいようなコンテンツの開発
- ・ 「ミネルバ」及び「LINE」による研究成果の積極的発信

○学校支援の充実

- ・ 各教科・領域等の指導法改善に係る支援
- ・ 研究発表会、授業研究会、教科部会等での資料提供